



薄川土地改良区だより

2025. 4. 1

松本市薄川土地改良区から、入・里山辺に住む方々への お願いとお知らせです

【いよいよ芽吹き of 春の到来です】

今年の冬はかなり寒い冬でした。長野県の北部では大雪、松本地域は乾燥した日々が続きました。太平洋側では各地で山火事が発生しました。夏場の水不足も心配されましたが、3月になって南岸低気圧の通過で「上雪」が降り、山辺の田や畑も潤い、庭先の福寿草が咲き、スイセンのつぼみも膨らんできています。雪かきの機会もありありませんでしたが、皆様のご協力で、上流の雪かきの雪が水路に流され、下流であふれるトラブルがなく感謝しています。

【こんなトラブル起きないように】

お百姓さんたちは4月には「川ざらい」を行い、水田の「春起こし」「荒代掻き」「本代掻き」そして5月の連休明けには一気に田植えが行われます。山辺の田に一面水が張られ、残雪の常念岳や大天井岳が映る景色は何度見ても心を動かされます。

冬の間細い水路には水を流していませんでしたが、いよいよ水が流れます。枯草やビニール袋などが詰まり、道路に水が溢れるようなことも起こりやすくなります。農家の皆さんも「川ざらい」をしますが、住宅街でも川に生活ごみなどが詰まらないようお互いに気を付けましょう。また、農家の方々はトラクターの泥が生活道路にばらまかれるようなことがないようにお願いいたします。

【水は命の元 農業に限らず そこに住む人達共通の宝です】

以前松本市の小中学校に、AETとして働くアメリカ人のS先生に聞いた話です。S先生は、松本の姉妹都市、米国ユタ州のソルトレイク市のご出身です。「松本とソルトレイクは同じ内陸の都市で、似ているところもあるが、大きな違いは松本は水が豊かでどの川にも澄んだきれいな水が常に流れていて、川に魚が泳ぎ、水草が自生していて驚きだ、池や湖も素晴らしい。水田にカエルの鳴き声が聞こえる。はじめなんの声が不思議だったわ。春には、松本の山は一斉に芽吹き「山目覚める」。ソルトレイクの山は岩盤が多く春でも茶色だよ」と言われました。